

大型ボックスカルバートの十字クロス部用止水材

ストッパーQ

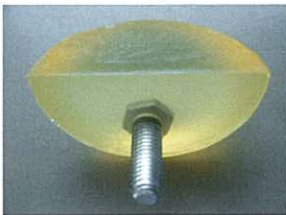
分割式のボックスカルバートにおいては、4個体のボックスカルバートをつきあわせるため、必ずボックスボックスとの間にクロスする部分が生じます。このボックスをつなぎ合わせる十字クロス部において、漏水することが頻繁にありました。

ストッパーQは、ボックスカルバートのクロス部分における止水性を確実にする為に開発された商品です。ストッパーQをおくだけで、簡単にボックスカルバートの止水性を向上させることが可能です。

■特徴■

- ① 分割式ボックスカルバートの弱点であった十字クロス部において、ストッパーQを挿入しボックスをブチルシートで覆い、緊張するだけで高い止水効果(0.10MPa)が得られる乾式工法です。
- ② ストッパーQは、ブチルゴムで成形されており、シール材との圧着性が良好です。
- ③ ストッパーQは、簡単な型枠改造(弊社商品コトロンを型枠に取り付けるだけ)で使用できます。

コトロン(樹脂製)



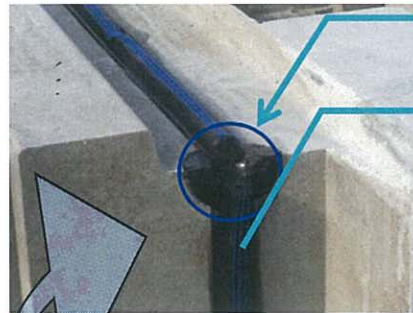
型枠に取り付けるだけで、簡単に凹溝を形成できます

使用材料(1クロス部)



右 ストッパーQ4個
左 ブチルシート4枚

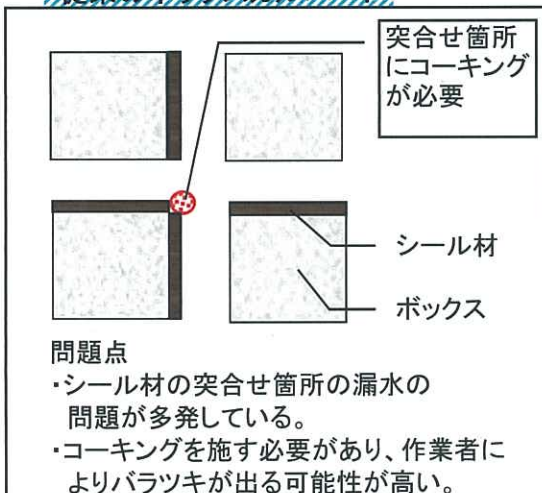
ストッパーQ設置状況



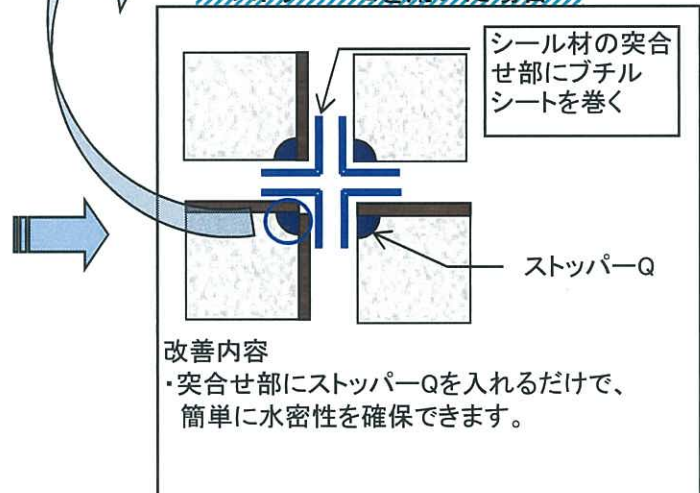
ストッパーQ

シール材にベッスルを用いると、ベッスルのネット効果により、ボックスの据え付けがスムーズに進行します。

従来のボックスカルバート



ストッパーQを用いた場合



■止水実験■

試験条件

- ① ボックス 標準ボックス(1000×1000)
- ② クロス部 ストッパーQ+ブチルシート
- ③ 直線部 ベッスル2
- ④ 緊張力 40Kg/cm

試験結果

水圧	日数	結果
0.05MPa	5日	水漏れなし
0.07MPa	5日	↑
0.10MPa	5日	↑
最大水漏れ圧力	—	0.13MPa

* 当社水密試験のデータです(保証値ではありません)。実際の使用条件等により、止水性能が異なる場合があります。